

令和2年8月31日 定例記者会見発言録

秘書室長

定刻になりましたので、ただいまから定例記者会見を行います。本日の進行役を務めます秘書室長の高荷と申します。よろしくお願いいたします。

配布資料の確認をさせていただきます。本日の配布資料は、次第、定例記者会見資料、東松山市農林公園丘の上のカフェ「Heuvel (フーヴェル)」のメニュー表、行事等の開催日程、市議会定例会会期日程、議案等の議会提出資料一式でございます。以上ですがよろしいでしょうか。

それでは、はじめに森田市長から発言がございます。森田市長よろしくお願いいたします。

市長

各社の皆様には、大変ご多用のところ定例記者会見にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

本日私からご報告申し上げることは、9月定例市議会提出案件の概要、市政トピックス、行事等の案内の3点でございます。

それでは、こちら(モニター)のパワーポイントの画面と一緒にご覧いただきたいと思っております。

はじめに、9月定例市議会提出案件の概要につきまして、今期定例市議会に提出いたします議案は、人事案件2件、専決処分3件、条例制定4件、補正予算5件、決算認定8件、の計22件でございます。

議案等につきまして、主なものの説明をさせていただきます。

議案第53号ですが、東松山市保育園設置及び管理条例の一部を改正する条例制定についてでございます。

今回、東松山市立まつやま保育園の定員を、0歳から2歳児までの低年齢児を中心に、90人から110人に増加することにより、保育の受け皿の確保や待機児童の解消を図ります。

令和2年4月1日現在の東松山市の待機児童は6人です。待機児童の解消に向けて、今回の条例改正による定員増加のほか、本年度の予算で、民間保育園1園の整備補助を行っており、令和3年4月1日に開所する予定でございます。

こちらにありますように、当市においては待機児童が40人前後ではありましたが、待機児童の解消を目指して保育園の整備を行ってまいりました。今年は6人ということですが、来年は1園新しい保育園が開園いたしますので、待機児童ゼロを目指して、更に保育施設の充実を図ってまいりたいと考えております。

続いて、議案第48号は、令和2年度東松山市一般会計補正予算第4号についてです。これは、6月24日に専決処分をしたものでございます。

ひとり親世帯臨時特別給付金は、国の事業に基づいて、児童扶養手当受給者等に対し、基本給付として1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円を、更に収入が大きく減少した者には、追加給付として5万円を支給するものです。

東松山市持続化応援金につきましては、国の持続化給付金の対象とならない事業者を対象に一律25万円の助成を行い、事業者の事業継続、経営安定化を応援するものです。

そのほか、各市民活動センターや避難所等へのサーマルカメラの設置、市民病院への繰出金など、新型コロナウイルス感染症対策を図ったものでございます。

議案第50号は、令和2年度東松山市一般会計補正予算第5号についてです。

国の交付金等を受けまして、保育園や放課後児童クラブ、小中学校などへの新型コロナウイルス感染症拡大防止に用いる感染防止対策物品の整備やスクールサポートスタッフ等の配置を行うため、令和2年8月12日に専決処分をいたしました。

議案第55号は、令和2年度東松山市一般会計補正予算第6号についてです。

一般会計補正予算第6号は、歳入歳出それぞれ14億1,722万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を413億8,781万5,000円とします。

今回の補正予算の主なものは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、住居を失うおそれのある方を支援するため、住居確保給付金を増額します。

また、国の内示を受け、GIGAスクール構想の推進に向けた学習用タブレット端末等を小中学校に整備します。今回は、国の補助対象となった市全体の児童・生徒数の2/3の台数の整備となりますが、残りは、地方創生臨時交付金の実施計画に盛り込んでおり、整備を予定しております。

そのほか、老朽化した南地区体育館の空調設備の更新をする予定でございます。

続きまして、地方創生臨時交付金2次配分にかかる実施計画の提出についてのご説明です。

新型コロナウイルス感染症対策のため、地方創生臨時交付金2次配分にかかる実施計画を令和2年7月27日に国へ提出いたしました。

地方創生臨時交付金2次配分の交付限度額は、6億2,439万7,000円、実施計画の事業費総額は、7億4,398万1,000円です。

次に、実施計画に盛り込んだ事業につきましては、お手元の資料にあるとおりの事業について提出をさせていただいております。この中で主なものについてご説明をさせていただきたいと思います。

はじめに、プレミアム付商品券の発行です。発行総額を5億2,000万円といたしまして、うちプレミアム分1億2,000万円、プレミアム率30%のプレミアム付商品券を発行し、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた市内事業者の事業継続を応援するという目的で行わせていただきたいと思います。商工会が行う事業です。市から事業費を補助し実施いたします。

続いて、医療機関等への支援についてです。医療機関も新型コロナウイルス感染症の拡大

により、医療収益の減少、入院患者・外来患者の減少に伴って支援が必要ということで、病院の病床数に応じて100万円または150万円、一般診療所に30万円、歯科診療所に20万円、薬局に10万円の支援を行い、収益の減少の補助と感染症対策の強化推進を図らせていただきたいと思います。

続きまして、赤ちゃん応援特別給付金と銘打ちまして、令和2年4月1日から4月27日に生まれた子ども1人に対し1万円を、令和2年4月28日から12月31日に生まれた子ども1人に対し11万円を支給します。

国の給付制度の基準日の翌日以降に生まれた赤ちゃんに対して特別給付金を給付することで、養育する家族の経済的・精神的負担の軽減を図っていきたいと考えております。

続きまして、市政トピックスです。

はじめに、東松山市農林公園丘の上のカフェ「Heuvel（フーヴェル）」についてご紹介をさせていただきます。

令和2年8月1日、東松山市農林公園内に丘の上のカフェ「フーヴェル」がオープンいたしました。「フーヴェル」とは、オランダ語で「丘」という意味で、公園内で収穫したイチゴを使ったデザートや市内農産物を使ったランチメニュー等を提供しております。

8月1日から16日の来店者数は2,891人で、大勢の方に利用いただきました。9月には、東松山市特産の梨を使用した限定新メニューを、また10月には、東松山市特産の栗を使用したメニューも予定をしております。お手元にメニューを配布させていただいておりますのでご覧ください。

続きまして、高田博厚展2020についてご報告いたします。

昨年開催いたしました「高田博厚展2019」に引き続いて、ご遺族から寄贈いただきました彫刻作品、デッサン、書簡等を展示し、高田博厚の功績を紹介します。展示会は、10月7日水曜日から11月3日祝日、午前9時から午後5時、場所は総合会館1階多目的室で行います。

また、10月25日日曜日には、高田博厚の彫刻作品のモデルとなった、元NHKアナウンサー室町澄子氏の特別講演会を開催いたします。

モデルになった経緯や高田博厚が作品に込めた思いなどを語っていただく予定でございます。

次に、マイナンバーカード交付推進事業についてのご報告です。

マイナンバーカードの取得推進のために、9月1日から市内7か所の市民活動センターでマイナンバーカードの出張申請受付を実施いたします。

申請者本人が市民活動センターで申請手続きを行うことで、後日郵送でマイナンバーカードを受け取れます。これにより、マイナンバーカードの普及が促進されることを願っております。

次は、日本スリーデーマーチの特別企画「どこでもウォーキング」についてのご紹介です。

日本スリーデーマーチ特別企画として、今年度中止となった第43回日本スリーデーマ

一チの開催予定日に、参加を楽しみにしてくれたウォーカーの皆さんが、日本スリーデーマーチの景色に想いを馳せ、日本全国、世界各地で時を共有しながらウォーキングを楽しんでいただくことを目的に「どこでもウォーキング」を実施します。10月15日までに、インターネットやファックス、郵送、窓口で参加申込を行っていただき、日本スリーデーマーチの開催予定日、11月1日から3日の間にお住まいの地域を自由にウォーキングしていただきます。後日、参加したウォーカーから開催期間中のお気に入り写真を実行委員会事務局まで送付していただき、公式ホームページ上にお気に入り写真を掲載いたします。

なお、参加費は無料で、参加申込者には限定オリジナル記念バッジを贈呈させていただきます。このバッジを付けて日本各地で歩いているウォーカーの姿が見られると嬉しいです。

最後に、令和元年東日本台風、台風第19号に関する支援等についてご報告です。

はじめに、被災家屋の公費解体についてのご報告です。

現在、申請受理件数は65件となっています。

公費解体の契約済み件数は35件です。解体済み件数は5件となっています。公費解体については、令和2年12月までに全て終了する見込みです。

次に、被災者生活再建支援金は、8月14日時点で、基礎支援金が申請件数290件、申請額が1億7,962万5,000円、加算支援金が申請件数219件、申請額が2億1,037万5,000円となっています。

次に、被災した世帯の住まいの再建状況ですが、被災した622世帯の住まいの再建の意向についてですが、被災した場所と同じ場所での再建が541世帯、別の場所での再建が71世帯、検討中が10世帯です。

住まいの再建の進捗状況ですが、補修や購入など住まいの再建が終わった世帯が483世帯、補修中や建設中など再建がまだ終わってない世帯が139世帯となっており、住まいの再建が終わった世帯の割合は、77.65%となっております。

最後に、お手元には、令和2年9月上旬から11月下旬までの行事等の開催日程を配布させていただきました。ご確認ください。

私からの報告は以上でございます。よろしく申し上げます。

秘書室長 ご質問がございましたらお願いいたします。

時事 時事通信です。よろしく申し上げます。まず、新型コロナウイルス感染症対策の医療機関への支援についてですが、該当する施設数はそれぞれ何か所ぐらいあるのかということと、トータルでの関連予算はいくら計上する予定なのかということと、募集についてどのように申請すればよいのかということをお教えいただければと思います。また、募集期間も教えていただければと思います。

市長 健康福祉部長、お願いします。

健康福祉部長 健康福祉部長の今村でございます。まず施設ですが、病院については100床以上を4施設、100床未満を2施設、予算上の数で申し上げますが、一般診療所65施設、歯科診療所56施設、薬局59施設、合計186施設でございます。続きまして予算ですが、特別支援金につきましてはトータルで4,460万円を予定してございます。それから、対象施設の把握につきましては、開業している施設は市で把握してございますので、市から施設にアプローチする形を取りたいと考えております。募集期間は、あらためて回答させていただきます。

時事 ありがとうございます。では、申請制ではなくて全ての施設に対して市からアプローチするということよろしいですか。

健康福祉部長 健康福祉部長の今村です。申請制になりますので、申請用紙等を送ることとなります。以上です。

時事 ありがとうございます。スリーデーマーチの企画の件ですが、PRの方法にダイレクトメールとあるのですが、これはどういった方へのダイレクトメールなのかということと、過去参加者がどのくらいだったかということをお知らせください。その中で、日本人と外国人の割合を教えてください。それに関連しまして、PRのところで、英語でのご案内もされるのでしょうか。

市長 教育部長、お願いします。

教育部長 教育部長の小林です。ダイレクトメールの方法につきましては、第42回日本スリーデーマーチ、こちらは昨年中止になりましたが、その時点でお申し込みいただきました登録者にダイレクトメールを差し上げております。ダイレクトメールを送付した数につきましては、個人が7,863通でございます。参加者につきましては、一昨年の大会で8万2,259人です。外国人の参加者数は123人です。外国人に対しては、ホームページで周知を申し上げます。以上です。

時事 ありがとうございました。

朝日 朝日新聞です。同じくスリーデーマーチについてですが、昨年、今年と2回中止となりましたが、市として代替としておやりになるわけですが、なぜやることになったのかということと、缶バッジを送るということですが、事前に送られるのか、それとも申請して歩きましたという報告を受けてから送られるのかということと、市の予算がいく

らくらい計上されているのかについてお願いします。

市長 ご存知のように、日本スリーデーマーチは、昨年は東日本台風の直後ということで急きょ中止となりました。今年も開催に向けて準備を始めたのですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、やむなく中止せざるを得なくなりまして、2年続けて40回以上続いている、我が国最大のウォーキングイベントが中止ということは、主催者にとりまして大変残念なことなのですが、それ以上に、日本全国、世界各国大変楽しみにしているウォーカーの方がたくさんいるということです。その方に対してつないでおきたいという思いが一番強いです。それで情報発信をして、今年は開催できませんが皆さん各地域で歩いてください、というメッセージも込めて、今回開催させていただくという形となりました。缶バッジについては、登録をしていただいた方にお送りし、缶バッジを付けて歩いていただきます。予算については、教育部長お願いします。

教育部長 教育部長の小林です。予算につきましては概算となりますが、230万円程度を見込んでおります。以上です。

健康福祉部長 先程、回答していない部分を説明してよろしいですか。

市長 健康福祉部長、お願いします。

健康福祉部長 健康福祉部長の今村です。先程の医療機関への補助の件で、募集期間については現在未定ですが、今開設していらっしゃる施設に支援金をお送りする形で考えております。以上です。

毎日 毎日新聞です。プレミアム付商品券のお話ですが、登録店舗はどれくらいあって、市内店舗の何割くらいを締めるのでしょうか。

市長 環境産業部長、お願いします。

環境産業部長 環境産業部長の関根と申します。前回プレミアム付商品券の事業を行った時の実績で申し上げさせていただきます。実績ですと372店が加盟店ということで使用させていただいたところがございます。市内の事業者数は、経済センサスによりますと3,500店程度となります。以上です。

毎日 そうすると、1割くらいということですか。

環境産業部長 商工会の加盟店数で言いますと、1,600店くらいが加盟している状況になります。この事業は、商工会が実施主体として実施するものでございます。以上です。

毎日 商工会でも1,600店ということは、参加率はそれほど高くはないですが、これから引き上げるような施策は考えていらっしゃるのでしょうか。

環境産業部長 ただ今申し上げた経済センサスの数字は、工業の部分も加味した数字となっております。

毎日 そうすると、実際の小売店の数としてはわからないのでしょうか。

環境産業部長 お時間をいただければと思います。確認をしまして後ほどお答えさせていただきます。

朝日 マイナンバーカードですが、市内でマイナンバーカードの普及率はどのくらいかというのが第一点と、6月以降に一人当たり10万円の給付が行われましたが、当初マイナンバーカードを持っている人が先行して手続きをしましよ、ということがありましたが、あまり普及されていないというような報道もありまして、こちらの市ではどのくらいの方がマイナンバーカードで給付申請をされたかについてお聞きしたいと思います。

市長 マイナンバーカードの交付実績ですが、7月末時点で16.68%、1万5,058人です。特別定額給付金の件は、政策財政部からお答えします。

政策財政部長 政策財政部長の山口でございます。特別定額給付金の申請の中で、マイナンバーカードを使つての、いわゆるオンラインの申請ですが、最終的な数字は集計中で、途中経過ですけれども、8月17日現在では1,116件でございまして、そこから10から20件くらい上乗せした数字が最終的な数字になるかと思ひます。以上です。

朝日 1,116件というのは、給付金の対象のおよそどのくらいのパーセンテージになるのですか。

政策財政部長 政策財政部長の山口でございます。給付金の対象世帯が4万750世帯でございまして、最近の数字ですとそのうち4万601件が申請をされてい、その中で先程申し上げた1,116件がオンライン申請をされてい。以上でございます。

時事 赤ちゃん応援特別給付金ですけれども、対象となるお子さんの数は何人になりますでしょうか。

市長 子ども未来部長、お願いします。

子ども未来部長 子ども未来部長の山田でございます。予算計上額の対象者は、①（令和2年4月1日～令和2年4月27日に生まれた子ども）が55人、②（令和2年4月28日～令和2年12月31日に生まれた子ども）が495人、合計で550人を計上してございます。以上でございます。

時事 ありがとうございます。もう一点、スリーデーマーチの特別企画ですが、募集はもう始まっているということよろしいでしょうか。

教育部長 教育部長の小林でございます。9月1日から市広報紙で呼びかけを行っておりますし、ホームページやダイレクトメールなどで発信しているところでございます。以上です。

時事 ありがとうございます。

健康福祉部長 先程、医療機関への支援の中で数字を申し上げましたが、本日の資料に基づきますと、地方創生臨時交付金の実施計画に基づく数字と、市で内部的に予算計上しているものとは若干違いますので、あらためて説明させていただいてもよろしいでしょうか。

地方創生臨時交付金の実施計画に基づく数字でいきますと、病院については100床以上が4施設、100床未満が2施設、一般診療所63施設、歯科診療所54施設、薬局57施設、合計180施設でございます。支援金の総額は4,340万円になります。以上でございます。

市長 どちらの数字を採用したらよいのですか。政策財政部長、お願いします。

政策財政部長 政策財政部長の山口でございます。地方創生臨時交付金の取りまとめを行っている立場からお答えをさせていただきます。地方創生臨時交付金の実施計画は、健康福祉部長が2回目に申し上げた件数で国に提出しておりますので、生の数字としては、その件数と金額で落ち着くだろうと考えております。以上でございます。

時事 記事にするのは、2回目におっしゃっていただいた数字でよろしいでしょうか。

政策財政部長 実施計画上の数値ということで、2回目に申し上げた数字でお願いできればと思います。以上です。

時事 ありがとうございます。

環境産業部長 環境産業部長の関根と申します。先程のプレミアム付商品券についての対象事業者数の件につきまして、ご回答させていただきたいと思います。確認させていただきまして、プレミアム付き商品券の事業の対象と成り得る事業者数でございますが、約1,200事業者になります。前回実績数が先程申し上げましたとおり372件ということですので、約3分の1程度となっております。今回も多くの加盟をいただけるようにPRをして、事業を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

市長 前はいつ行ったのか。

環境産業部長 昨年度になります。

秘書室長 それでは、以上で終了いたします。ありがとうございました。

市長 ありがとうございました。